

KES 審査登録事業者：最高責任者様

KES エコロジカルネットワーク

2023年度・取組み参加のご案内

特定非営利活動法人KES環境機構
(事務局)公益財団法人京都市環境保全活動推進協会アジェンダ課

拝啓 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素はKES取組みにつきまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2014年度18事業所からスタートした「KESエコロジカルネットワーク(※)」の取組みも皆様方の多大なご賛同により定着し2022年度は259事業所で取組みいただくまでになりました。

2023年度は昨年度の枠組みを原則継続して下記取組みとしますので、多くのKES登録事業者様のご参加をお待ちしています。なお、昨年に引き続きコロナ感染防止に配慮した計画としております。

[2023年度の取組み] 下記3項目とします。

- (1) 希少植物の生息域外保全活動：希少種栽培植物として次ページ「申込書」に記載した8種類（これらは京都市の「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト」認定の対象）とします。P3に比較表を添付しましたので、種類選定の参考にしてください。
- (2) 自社敷地内の緑化活動：屋上緑化、壁面緑化、地上緑化、雨庭緑化
- (3) その他生態系保全活動：まちなかの緑化、里山里地保全活動、KES推奨の活動への参加など。

詳細な内容につきましては、「KESホームページ・トピックス」(<http://www.keskyoto.org/>)の「KESエコロジカルネットワーク・2023年度取組み基準」をご参照ください。

[申し込み方法・内容説明<(1)(2)(3)共通>・栽培セットお渡し<(1)のみ>について]

1. お申し込みは、次ページ「申込書」に必要事項をご記入いただき、**3月31日(金)までに**、下記アドレスへFAXまたはE-Mailでご送信ください。なお、**継続される組織様も返信ください**。
2. 具体的な取組みに際しては下記日程を予定しますが、コロナ感染防止の観点から変更もあることを予めご諒承ください。変更のあった場合は都度、Fax、Mail、ホームページなどでお知らせします。
 - ①内容説明はこの活動の意義や活動メニューの詳細、希少種の定植・育成の方法、KES改善目標への取り組みなどをウェブページに資料やビデオを掲示して行います。
 - ②③栽培実習(苗渡し)は上記(1)を希望された方に種類ごとに2回に分けてお集まりいただき、定植・栽培方法を説明の上ご自身の希少種の定植をしていただきます。

①案内・申込み	このご案内 申込期限 3月31日
①内容説明	日 程：4月中旬以降を予定 KES ホームページ上で公開
②栽培実習 苗渡し(1)	日 程：5月中旬～下旬の指定日 対象種：フタバアオイ、ヒオウギ、アヤメ、ワレモコウ 会 場：開催日時と共に後日連絡します
③栽培実習 苗渡し(2)	日 程：6月中旬～下旬の指定日 対象種：フジバカマ、キクタニギク、オミナエシ、イワギボウシ 会 場：開催日時と共に後日連絡します

3. 本取組みに参加していただきますと、上記①希少植物の生息域外保全活動、②自社敷地内緑化活動、③その他生態系保全活動、の項目ごとにKES環境マネジメントシステムの環境改善目標の一環として取り組んでいただけます。
4. 本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人KES環境機構 TEL：075-342-1170 FAX：075-342-1177
(事務局)公益財団法人京都市環境保全活動推進協会企画広報室 TEL：075-647-3535 FAX：075-641-2971
<申込みはKES環境機構へお願いします。申し込み後の連絡は(事務局)京都市環境保全活動推進協会企画広報室が担当します>

[参考] (※)「エコロジカルネットワーク」：野生生物が生息する様々な空間がつながる生態系のネットワーク

団体名		部署名(職位)	
電話番号		担当者名	
FAX		E-Mail	

記入方法

初めて参加⇒希望される新規取組欄に記入ください

現在取組中で植物や活動を追加したい⇒取組状況欄記入の上、追加を希望される新規取組欄記入

現在の取り組みをこのまま続けたい⇒取組状況欄にのみ記入して必ず提出ください

限定鉢数の植物は 2 鉢以内でお申し込みください

1. 希少植物の生息域外保全活動

希少植物名	今年度新規取組			昨年度までの取組状況				
	今年度頒布価格 (一鉢当たり)	限定鉢数 (先着順)	希望 鉢数	取組 鉢数	生育状況			
					良好	普通	枯死	その他
A フタバアオイ	¥5,000	—						
B フジバカマ	¥5,000	—						
C ヒオウギ	¥3,000	30						
D キクタニギク	¥3,500	20						
E オミナエシ	¥2,500	20						
G アヤメ	¥3,000	25						
H ワレモコウ	¥3,000	25						
M イワギボウシ	¥3,000	15						

注：今年度は F カワラナデシコ、I クリンソウ、J ノカンゾウ、K タムラソウ、L ノハナショウブ は扱いません。

2. 自社敷地内緑化活動

緑化の内容	今年度新規取組			昨年度までの取組状況		
	希望取組に〇	使用草木種	実施予定 (年/月)	現在取組に〇	使用草木種	現在の状況
① 屋上緑化						
② 壁面緑化						
③ 地上緑化						
④ 雨庭緑化						

3. その他の生態系保全活動

活動内容	新規取組		取組状況	
	希望取組に〇	要望事項等	現在取組に〇	現在の状況
① まちなかの緑化活動				
② 里山里地保全活動	ア. 京都モデルフォレストの活動に参加			
	イ. 「宝が池の森」保全・再生」の活動に参加			
	ウ. その他 ()			
③ KES エコロジカルネットワークが推薦する活動に参加する				

【付表】希少植物の生息域外保全活動 植物栽培方法等の比較表(2023年度) (注1) 実生……種子から発芽した苗を育てること

(注2) 少なくとも平日(毎日)の管理ができる場合の育てやすさ

種名(科名)	レッドデータブック 記載ランク(国、府)	花期	自生地の環境	栽培環境・方法 (容器栽培として)		殖やし方	育てやすさ(注2) 5(易)~1(難)	
				日照	水やりの注意	【交雑しやすい植物は実生(注1)を推奨しない】		
A	フタバアオイ (ウマノスズクサ科)	—	3~5月	落葉樹林下	春先は明るい場所、5月以降は半日陰、盛夏は日陰に	水はけの良い土で、ムシないように。5月~9月は乾燥に注意する。	株分け、実生	3
B	フジバカマ (キク科)	環境省準絶滅危惧(NT) 京都府絶滅寸前種	9月下旬 ~10月	川の堤防、水田 周辺などの明 るい水辺	日当たり好む、盛夏の西日は苦手	盛夏は腰水灌水、1日2回(灌水が不可能なら日射を避ける)。	株分け、挿し芽	4
C	ヒオウギ (アヤメ科)	京都府準絶滅危惧種	7月中旬 ~9月	海岸の草地、海 岸林、山の草地	日当たり好む。	乾燥には強いが、花期前・盛夏は日射と乾燥による葉焼けに注意。	株分け、実生	5
D	キクタニギク (キク科)	環境省準絶滅危惧(NT) 京都府絶滅危惧種	10月下 旬 ~11月	乾いた川の法 面、山麓の土手	日当たり好むが、盛夏の日射は苦手。短日植物であり、夜間照明の近くに置かない。	乾燥にはやや強いが、盛夏は乾燥に注意	挿し芽	4
E	オミナエシ (スイカズラ科 /旧オミナエシ科)	京都府準絶滅危惧種	8月 ~10月	日当りのよい 湿性地など里 草地	日当たり好む	乾燥にはさほど強くない。盛夏は1日2回(灌水不可能なら日射を避ける)。	株分け、実生	4
G	アヤメ (アヤメ科)	京都府準絶滅危惧種	5月	山地のやや乾 いた草原	日当たり好む	乾燥にはやや強いが、盛夏は乾燥に注意	株分け(1~2年に1度の植替え時)	5
H	ワレモコウ (バラ科)	—	7月 ~10月	山間の草地、水 田周りなどの 里草地	日当たり好むが、盛夏は、半日陰がよい	夏は乾燥に注意。他の季節はやや乾燥気味に。	実生	4
M	イワギボウシ (キジカクシ科)	京都府準絶滅危惧種	8~9月	山中の湿った 岩上や樹上	春先は明るい場所、5月以降~秋は半日陰。	湿気を好み、乾燥には強くない。表土が乾いたら十分に灌水	株分け、実生	4